

## 第4学年 社会科学習指導案

### 1 単元名 「特色ある地域と人々の暮らし」

#### 2 単元の目標

- 島根県内の特色ある地域の人々の生活に関心をもち、島根県や県内の地域の特色やよさを考えようとしている。【関心・意欲・態度】
- 島根県内の特色ある地域の人々の生活について、島根県内の地域の特色を相互に比較することを通して、自分たちが住んでいる県の特色やよさを考え適切に表現している。  
【社会的な思考・判断・表現】
- 地図や資料を活用して、島根県内の特色ある地域の様子について必要な情報を集め、調べたことを「市町村リーフレット」に分かりやすくまとめている。【観察・資料活用の技能】
- 島根県内の土地の特性を生かして特色あるまちづくりに取り組んでいる地域や古くから伝わっている技術や技法を受け継いだ伝統的な産業が行われている地域、そこに見られる人々の生活の特色を理解している。【社会的事象についての知識・理解】

#### 3 単元について

##### (1) 児童について

##### (2) 単元の構成及び教材について

本単元は、学習指導要領内容（6）「県の様子について、次のことを資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ、県の特色を考えるようにする。ウ 県内の特色ある地域の人々の生活」を受けて設定したものである。

本単元では、島根県の地域や産業などに見られる特色や、県内の地域の自然環境、伝統や文化などの資源を保護・活用している地域やそこでくらしている人々の生活に見られる特色やよさを具体的に考えることができるようにすることをねらいとしている。これらを受け、本単元では島根県内の特色ある地域について、その地域の産業や伝統工芸、地形、観光などの地域の「たから」を守る活動や生かすための活動、それらに関わる人々の思いについて調べ、リーフレットにまとめる学習活動を設定した。

島根県内には、日本一のシジミの生産地である松江市の宍道湖や昔から受け継がれてきた技術を守り伝えている奥出雲町の雲州そろばん、浜田市の石州和紙、ユネスコ世界ジオパークとして認定された隠岐の島の自然などの様々な資源があり、各市町村ではその特色やよさを生かしたまちづくりを行っている。また、それぞれの地域にはこれらの資源を守るための活動や観光などに生かす活動などがあり、思いや願いをもって、その活動に携わっている人々がいる。これらのことを調べることを通して、その地域で暮らしている人々の生活に見られる良さや特色に気づかせたい。

また、本単元を通して、島根県には様々な特色を生かした地域があり、人々はその特色を生かして工夫して生活していることをとらえさせる。このような学習を通して、自分たちが住む島根県の自然

環境、伝統や文化などの特色について考えさせることは、自分たちの県に対する誇りをもつことにつながると考える。

### (3) 指導について

#### ①単元全体について

本単元は、前述した通り、島根県の地域や産業などに見られる特色や県内の地域の自然環境、伝統や文化などの資源を保護・活用している地域やそこでくらししている人々の生活に見られる特色やよさを具体的に考えることができるようにすることをねらいとしている。そのため、「市町村リーフレット」を作る際に、児童が資料からどこが必要な部分であるかを見つけることができるように、資源（たから）を中心に調べることができるようにしたい。その地域における資源（たから）とは、安来市の場合、安来節やドジョウ、ヤスキハガネ、苺などのように、伝統文化や産業、特産品などが考えられる。

第一次では、「都道府県魅力度ランキング」では島根県は32位（2018年）であることや、「何があるか分からない都道府県ランキング」で1位（2015年）であることを紹介する。前単元では島根県の豊かな自然環境や産業、伝統、文化などを学習してきており、島根県にはたくさんの「たから」があることを児童は学んでいる。これらのランキングから島根県のよさが全国に伝わっていないことに気づき、「島根県のよさを伝えたい」という意識をもたせたい。そのために、まずは自分達が島根県の市町村のことを知りたいという意欲をもつことができるようにしたい。また、教師が作成した「市町村リーフレット」を紹介することで本教材に対する意欲・関心をもつことができるようにする。そして、「市町村リーフレット」を作り、本校のホームページで紹介したり、駅に置かせてもらったりするなどして県外の人へ発信するという学習のゴールを示すことによって、見通しをもって学習に臨むことができるようにしたい。

そして、第二次ではグループで選んだ「たから」について調べ学習を行う。グループでどんな「たから」について調べるかを考える際には、まず市町村の位置や人口などの概要や産業、伝統文化などについて調べることで、その町の「たから」は何であるのか、どんなことを紹介したいのかをイメージをもって調べ学習に臨むことができるようにする。調べ学習を行う際には、学校図書館にある本や市町村のパンフレットなどを見て、「たから」についての情報を集めていく。

第三次では、今まで調べた情報をまとめてグループごとに「市町村リーフレット」を作る。その際、第一次での「島根のよさを伝えたい」ということを思い出させ、内容の構成の仕方や、絵や図の使い方などを工夫したリーフレットが作れるようにしたい。その後、作ったリーフレットはグループ同士で紹介し合う活動を行う。この活動を通して、自分達の調べた市町村だけではなく、違う市町村にも目を向けて様々な地域の特色やよさに気付くことができるようにしたい。

#### ②本時について

本時は第二次の5時間目、それぞれが集めた情報を整理し、グループでリーフレット作りの構成を考える場面である。児童はこれまでの学習でグループごとに決めた「たから」について、図書資料やパンフレットから必要な情報を、情報カードに抜き出して書いている。本時はまず、これらの情報カードを「①概要」「②守るための活動」「③生かすための活動」「④関わる人達の願いや思い」というリーフレットのまとめ方に沿って仲間分けを行う。その中では、グループの中で調べたことを共有する

ことができるように、情報カードを出すときには説明しながら出すことを徹底するようにしたい。

その後、仲間分けした情報カードを見て、リーフレットのまとめ方を考えていく。まずリーフレットを作るにあたって足りない情報がないかをグループで考えさせる。その中で、「④関わる人達の願いや思い」がパンフレットなどからでは分からないことが想定される。そのため、「市町村リーフレット」を充実したものにするために、さらにどのようなことを調べたらよいかについても考えさせたい。

### ③学校図書館教育との関わり

本単元では、島根県の市町村に関する本やパンフレットを活用して調べ学習を行うなど、学校図書館を活用した学びが学習を支える。第二次では、グループで調べる市町村の「たから」を探すために、児童が読むことができるようにまとめた「島根県市町村カード」を用いる。その後、「たから」について本やパンフレット、各市町村の社会科副読本を用いて調べ学習を行う。グループの児童の関心がどこにあるのかを見極め、学校司書と話し合いながら選書を行っていききたい。

また、調べ学習の際には3年時から児童が使っている「情報カード」に情報を書き出す。情報カードには「1枚の情報カードに書く情報は一つだけであること」「出典を書くこと」などの約束があり、これらはリーフレットを作るうえで役に立つと考える。「1枚の情報カードに書く情報は一つだけであること」という約束はグループの各児童がそれぞれ情報を集め、仲間分けをする際に分けやすくするためである。また、「出典を書くこと」についてはリーフレットを作る際にどの資料から調べたかを振り返って、調べ直すことなどが考えられる。そのため、第二次の2時間目には、司書教諭、学校司書と連携図り、情報カードの約束について確認していききたい

## 4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
<p>○島根県内の特色ある地域の人々の生活に関心をもち、意欲的に調べている。</p> <p>○島根県の地域の特色やよさを考えようとしている。</p>	<p>○島根県内の特色ある地域の人々の生活について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。</p> <p>○島根県内の地域の特色を相互に比較して、自分たちが住んでいる県の特色やよさを考え適切に表現している。</p>	<p>○地図や資料を活用して、島根県内の特色ある地域の様子について必要な情報を集め、読み取っている。</p> <p>○調べたことを「市町村リーフレット」にまとめている。</p>	<p>○島根県内では土地の特性をいかして特色あるまちづくりに取り組んでいる地域や、そこに見られる人々の生活の特色を理解している。</p> <p>○島根県内では、古くから伝わっている技術や技法を受け継いだ伝統的な産業が行われている地域、そこに見られる人々の生活の特色を理解している。</p>

5 単元の指導計画（全11時間 本時7/11）

次	時	主な学習活動・内容	評価規準
一	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「都道府県魅力度ランキング」の結果や、吉田君のポスターを見て、島根県の魅力を伝えるためにリーフレットを作るという学習課題をつかむ。</li> <li>・前単元での学習を振り返り、島根県の魅力ある市町村について考える。</li> <li>・自分が調べたい市町村を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島根県の様子について関心を持ち、意欲的に調べようとしている。</li> </ul>
二	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べる市町村ごとのグループを作り、それぞれの市町村の概要を調べる。</li> <li>・グループごとに、産業や伝統工芸、観光など、地域のどんな「たから」について調べていくのかを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島根県内の特色ある地域についての学習問題を作り、学習計画を考え表現している。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べる方法について知る。</li> <li>・役割分担や調べる方法をグループで話し合い、リーフレットを作るための計画を立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「市町村リーフレット」を作るために必要な情報の集め方を理解している。</li> </ul>
	3 ～ 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館にある本やパンフレットなどの資料を用いて調べ、情報カードにまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から必要な情報を集め、市町村の資源について特色を読み取っている。</li> </ul>
	6 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集めた情報をグループ内で共有し、情報カードの仲間分けを行う。</li> <li>・必要な情報カードを選び、リーフレットに掲載する内容を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村の特色を理解し、集めた情報を内容ごとに分類して、「市町村リーフレット」の内容を考えている。</li> </ul>
	7 ～ 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「市町村リーフレット」を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの地域の資源を守るための活動や、生かすための活動について、「市町村リーフレット」に分かりやすくまとめている。</li> </ul>
三	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班で作った「市町村リーフレット」を紹介し合う。</li> <li>・読んだ感想を伝え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島根県内の様々な地域には、地域の特色を生かしたくらしがあることを理解している。</li> </ul>
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の学習を振り返る。</li> </ul>	

## 6 本時の学習

### (1) 目標

各市町村の資源について集めた情報を整理し、「市町村リーフレット」を作るために必要な情報を選ぶことを通して、各市町村の特色をまとめている。【観察・資料活用の技能】

### (2) 展開

主な学習活動	○指導上の留意点 ★評価
1 前時の学習を振り返り、これまで調べたことを確認する。 2 本時のめあてを知る。	○それぞれが市町村の「たから」について調べたことを確認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">             情報カードを仲間分けして、「市町村リーフレット」にのせる情報を選ぼう。           </div>	
3 リーフレットの構成を確認する。 ①「たから」についての説明 ②「たから」を守るための活動 ③「たから」を生かすための活動 ④活動する人達の思いや願い 4 グループで情報カードを出し合って、仲間分けを行う。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">             ④浜田市 「石見神楽」           </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">             ①大田市 「石見銀山」           </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">             ⑤飯南町 「和牛」           </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">             ②隠岐の島町 「ローソク岩」           </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">             ⑥出雲市 「出雲そば」           </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">             ③松江市 「シジミ」           </div> </div> 5 仲間分けした情報を見て、「市町村リーフレット」に必要な情報を選ぶ。 6 本時の振り返りをする。	○例示したリーフレットを用いて、どの内容が当てはまるのか具体的に考えることができるようにする。 ○情報カードを出すときには、自分が調べたことを説明しながら出すように声がけをする。 ○仲間分けの観点を掲示するとともに、観点を書いてあるワークシートを用いて、仲間分けができるようにする。 ○仲間分けの結果を見て、情報が少ないところを見つけるように伝える。 ○担任、司書教諭、学校司書でアドバイスをするグループを決めておき、そのグループの活動をみるようにする。 ★観点にそって、情報カードを選び整理しているか。《活動》 ○仲間分けした情報の中で優先順位をつけて、リーフレットにのせることへの具体的なイメージをもつことができるようにする。

(3) 本時の評価

十分満足とされる児童の姿	おおむね満足とされる児童の姿	支援を要する児童への具体的支援
情報カードの仲間分けをして、「市町村リーフレット」を作るために情報を整理し、さらに必要な情報を考えることができる。	情報カードを仲間分けして、「市町村リーフレット」を作るために必要な情報を選ぶことができる。	友達のアドバイスを聞いて、情報カードの仲間分けを行うことができるようにする。

(4) 授業研究の視点

「市町村リーフレット」を作るための観点を提示し、仲間分けを行ったことは、各市町村の特色への理解を深める上で有効であったか。